

2024年9月26日

需要家各位

埼玉中央生コン協同組合  
営業委員長 小林智



今後の石灰石骨材確保事情について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より弊協同組合の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊協同組合の骨材の調達につきましては、骨材業者の工場の老朽化による生産量の減少、ダンプトラックおよび運転手の減少による輸送力の低下等に伴い、石灰石を筆頭に各種骨材の確保が年々厳しい状況となっております。

西部地区においては、主たる仕入先の武甲山の石灰石について、骨材業者各社より「2025年度より10%の減産」「2026年度以降生産量25%削減」などの計画が伝えられておりますが、それまでは潤沢な供給が期待できるというわけではなく、従来並みの骨材確保は徐々に困難になっていくものと予想されます。また西部地区の一部工場の石灰石仕入先である奥多摩地区の骨材業者は、昨年秋より石灰石の生産を終了しており、その影響も西部地区に及んできております。

城南・中部地区の仕入先である栃木県においては、過去数年のうちに石灰石骨材生産業者が2社廃業し、1社が石灰石骨材の生産を大幅に縮小しました。

弊協同組合においてはこのような状況により、今後石灰石を従来通り調達し、石灰石指定の配合に従来通り対応するのは困難となることが予想されます。

就きましては、今後の契約物件については事前にご相談いただきますとともに、骨材指定についてはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

弊協組としましては、今後も石灰石ほか各骨材の調達状況の推移を速やかに報告させていただきますが、需要家の皆様におかれましては諸事情ご賢察の上ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

敬具